

## 2022年度決算の概要

本学院の決算は、学校法人会計基準に基づき、公認会計士による監査・指導を受けて処理しております。また、計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表）は、毎年理事会、評議員会で決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

### 1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。したがって翌年度の授業料等の前受金や施設・設備関係支出などが含まれます。

本年度、収入（「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を引いた額）は、21億7,840万円、支出（「支出の部合計」から「翌年度繰越支払資金」引いた額）は21億9,580万円となりました。

単位：千円

科目	2022年度予算	2022年度決算	差異 (予算-決算)
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	477,758	474,610	3,148
手数料収入	6,400	4,852	1,548
寄付金収入	62,600	79,895	△ 17,295
補助金収入	104,325	125,506	△ 21,181
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	16,500	14,448	2,052
受取利息・配当金収入	1,500	1,624	△ 124
雑収入	75,987	54,667	21,320
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	200,556	188,074	12,482
その他の収入	1,446,925	1,508,611	△ 61,686
資金収入調整勘定	△ 216,430	△ 273,792	57,362
前年度繰越支払資金	372,406	403,360	
<b>収入の部合計</b>	<b>2,548,526</b>	<b>2,581,855</b>	<b>△ 33,329</b>
<b>支出の部</b>			<b>0</b>
人件費支出	507,838	463,844	43,994
教育研究経費支出	160,118	149,221	10,897
管理経費支出	69,717	65,196	4,521
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	9,000	0	9,000
設備関係支出	17,472	19,054	△ 1,582
資産運用支出	1,340,425	1,041,425	299,000
その他の支出	123,200	480,266	△ 357,066
[予備費]	5,000	—	—
資金支出調整勘定	△ 21,200	△ 23,128	1,928
翌年度繰越支払資金	336,957	385,978	
<b>支出の部合計</b>	<b>2,548,526</b>	<b>2,581,855</b>	<b>△ 33,329</b>

経常費補助金の他に修学支援給付制度の受給分が含まれます。同給付制度の学生への支給は、奨学費への計上となります。

公開講座は予算を上回りました。寮生の減少により補助活動収入が予算を下回りました。

特定資産として保有する定期預金や金銭信託等が満期を迎えると都度「その他収入」に計上。契約更新すると「資産運用支出」に計上します。預り金受入や貸付金回収の収入も含まれますが、それらの支出科目は、「その他支出」に計上されます。

コロナ禍の影響で、多くの諸活動が縮小し、予算を下回りました。

日本福音ルーテル教会への貸付金を含みます。

## 1-2 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算額を、①教育活動、②施設若しくは設備の取得又は売却その他これらに類する活動、③資金調達その他①及び②以外の活動に区分して作成したものです。企業会計でのキャッシュフロー計算書に相当するものです。

本年度、教育活動による資金収支差額はマイナス 240 万円、施設整備等活動による資金収支差額は 2 億 8,090 万円、その他の活動による資金収支差額でマイナス 2 億 9,590 万円となりました。

支払資金の増減額はマイナス 1,730 万円となります。

単位：千円

科目	2022年度決算
<b>教育活動による資金収支</b>	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	474,610
手数料収入	4,852
特別寄付金収入	11,380
一般寄付金収入	68,490
経常費等補助金収入	125,506
付随事業収入	14,448
雑収入	54,667
教育活動資金収入計	753,953
支出の部	
人件費支出	463,844
教育研究経費支出	149,221
管理経費支出	65,196
教育活動資金支出計	678,261
差引	75,692
調整勘定等	△ 78,131
教育活動収支差額	△ 2,439
<b>施設整備等活動による資金収支</b>	
収入の部	
施設整備寄付金収入	25
減価償却引当特定資産取崩収入	1,253,400
施設設備整備等活動資金収入計	1,253,425
支出の部	
施設関係支出	0
設備関係支出	19,054
減価償却引当特定資産繰入支出	953,400
施設整備等活動資金支出計	972,454
差引	280,971
調整勘定等	0
施設整備等活動資金収支差額	280,971
小計	278,532
<b>その他の活動による資金収支</b>	
収入の部	
受取利息・配当金収入	1,624
第3号基本金引当資産取崩収入	4,300
奨学資金引当特定資産取崩収入	31,110
研究所運営引当特定資産取崩収入	38,730
リード賞引当特定資産取崩収入	165
神学校奨学資金引当特定資産取崩収入	13,420
貸付金回収収入	3,720
預り金受入収入	147,838
立替金回収収入	1,569
仮払金受入収入	9,124
借入金受入収入	5,055
その他の活動資金収入計	256,656
支出の部	
過年度修正支出	0
第3号基本金引当資産繰入支出	4,300
奨学資金引当特定資産繰入支出	31,410
研究所運営引当特定資産繰入支出	38,730
リード賞引当特定資産繰入支出	165
神学校奨学資金引当特定資産繰入支出	13,420
貸付金支払支出	300,000
預り金支払支出	148,763
立替金支払支出	1,603
仮払金支払支出	9,124
借入金支払出	5,055
その他の活動資金支出計	552,570
差引	△ 295,915
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	△ 295,915
支払資金の増減額	△ 17,383
前年度繰越支払資金	403,360
翌年度繰越支払資金	385,978

営利企業の「営業活動のキャッシュフロー」に相当します。

営利企業の「投資活動のキャッシュフロー」に相当します。

営利企業の「フリーキャッシュフロー」に相当します。

営利企業の「財務活動のキャッシュフロー」に相当します。

今期、1,730万円の現預金が減少しました。

## 2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書の目的は、①教育活動、②教育活動以外の経常的な活動、③その他の活動の3つの活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度の基本金組入額を控除して事業活動収入と支出の均衡の状態を明らかにするものです。

本年度、教育活動での収入が7億5,510万円、支出は7億4,050万円で収支差額が1,460万円。教育活動と教育活動外の収支を合わせた経常収支差額は1,620万円。更に特別収支を合わせた基本金組入前当年度収支差額は1,500万円となりました。

単位：千円

科目	2022年度予算	2022年度決算	差異(予算—決算)
<b>教育活動収支</b>			
<b>事業活動収入の部</b>			
学生生徒等納付金	477,758	474,610	3,148
手数料	6,400	4,852	1,548
寄付金	62,600	80,145	△17,545
経常費等補助金	104,325	125,506	△21,181
付随事業収入	16,500	14,448	2,052
雑収入	75,987	55,587	20,400
教育活動収入計	743,570	755,148	△11,578
<b>事業活動支出の部</b>			
人件費	511,734	469,931	41,804
教育研究経費	223,618	194,452	29,166
管理経費	84,417	75,552	8,865
徴収不能額等	400	600	△200
教育活動支出計	820,169	740,535	79,634
教育活動収支差額	△76,599	14,613	△91,212
<b>教育活動外収支</b>			
<b>事業活動収入の部</b>			
受取利息・配当金	1,500	1,624	△124
教育活動外収入計	1,500	1,624	△124
<b>事業活動支出の部</b>			
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	1,500	1,624	△124
経常収支差額	△75,099	16,237	△91,336
<b>特別収支</b>			
特別収入計	0	25	△25
特別支出計	1,000	1,176	△176
特別収支差額	△1,000	△1,151	151
予備費	5,000	-	-
基本金組入前当年度収支差額	△81,099	15,085	△96,184
基本金組入額合計	△7,000	△7,667	667
当年度収支差額	△88,099	7,419	△95,518
前年度繰越収支差額	△1,051,171	△1,031,026	△20,145
翌年度繰越収支差額	△1,139,270	△1,023,607	△115,663

経常費補助金の他に修学支援給付制度の受給分が含まれます。同給付制度の学生への支給は、奨学費への計上となります。

公開講座は予算を上回りました。寮生の減少により補助活動収入が予算を下回りました。

コロナ禍の影響で多くの諸活動が縮小し、予算を下回りました。

コロナ禍の影響で多くの諸活動が縮小し、予算を下回りました。

貸与奨学金の徴収不能分となります。

「基本金組入前当年度収支差額」は、旧「帰属収支差額」です。

### 3. 貸借対照表

貸借対照表は、組織のある一定時点（期末）における資産の、負債、純資産を対象表示することで、財政状況を明らかにするものです。

資産の総額は、26億4,980万円で、前年度に比べて0.5%の減少となりました。内訳は土地、建物、備品、図書及び引当資産などの固定資産が22億1,140万円、現金預金などの流動資産が4億3,840万円となっています。

負債の合計は、3億7,000万円で、前年度に比べて7.3%の減少となりました。内訳は長期未払金と退職給与引当金の固定負債が1億5,730万円、未払金、前受金、預り金などの流動負債が2億1,260万円となっています。

純資産の合計は22億7,980万円で、前年度に比べて0.6%の増加となっています。内訳は各基本金の合計が33億340万円となっています。

単位：千円

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
固定資産	2,211,431	2,251,331	△ 39,900
有形固定資産	1,458,629	1,495,909	△ 37,280
土地	339,053	339,053	0
建物	618,472	656,410	△ 37,938
構築物	29,787	34,566	△ 4,780
教育研究用機器備品	45,031	43,333	1,698
管理用機器備品	3,957	3,834	122
図書	422,329	418,712	3,617
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	441,425	741,125	△ 299,700
第3号基本金引当資産	4,300	4,300	0
奨学資金引当特定資産	31,410	31,110	300
研究所運営引当特定資産	38,730	38,730	0
減価償却引当特定資産	353,400	653,400	△ 300,000
リト賞引当特定資産	165	165	0
神学校奨学資金引当特定資産	13,420	13,420	0
その他の固定資産	311,378	14,298	297,080
電話加入権	1,858	1,858	0
長期貸付金	309,520	12,440	297,080
流動資産	438,414	412,718	25,696
現金預金	385,978	403,360	△ 17,383
未収入金	45,756	179	45,577
貯蔵品	1,082	1,236	△ 154
短期貸付金	2,460	2,940	△ 480
前払金	2,105	4,002	△ 1,897
立替金	1,034	1,000	34
資産の部合計	2,649,845	2,664,049	△ 14,204

活動区分資金収支計算書における支払資金の増加額と一致します。

前年比で0.5%の減となりました。

単位：千円

科目	本年度末	本年度末	増減
<b>負債の部</b>			
固定負債	157,372	149,494	7,878
長期未払金	10,632	8,841	1,791
退職給与引当金	146,740	140,653	6,087
流動負債	212,628	249,795	△ 37,167
未払金	17,335	13,615	3,719
前受金	188,074	228,036	△ 39,962
預り金	7,219	8,144	△ 925
負債の部合計	370,000	399,289	△ 29,289
<b>純資産の部</b>			
基本金	3,303,452	3,295,786	7,667
第1号基本金	3,243,152	3,235,486	7,667
第3号基本金	4,300	4,300	0
第4号基本金	56,000	56,000	0
繰越収支差額	△ 1,023,607	△ 1,031,026	7,419
翌年度繰越収支差額	△ 1,023,607	△ 1,031,026	7,419
純資産の部合計	2,279,845	2,264,760	15,085
負債及び純資産の部合計	2,649,845	2,664,049	△ 14,204

サーバー、コンピュータ、教育関連ソフト、ネットワーク関係機器等の更新をリース契約により行いました。リース全体の未払分が計上されています。

前年比で7.3%の減となりました。

基本金と繰越収支差額が「純資産の部」となります。前年比で0.6%の増となりました。